

平成30年度第2回さいたまはーと推進協議会資料

サイクルパーク構想の検討状況

都市局都市計画部自転車まちづくり推進課

■サイクルパークの位置付け

- 「さいたま自転車まちづくりプラン～さいたまは一と～」に掲げる4つの柱のうち“たのしむ”の施策として、**サイクルパークの設置**を位置付けている。
- さいたま市における自転車の活用推進を図ることを目的に、自転車の楽しさを日常的に体験できる場を創出することとしている。

【事業概要／さいたまは一と引用】

- ・実体験を通じた情報発信、自転車文化の醸成のために、自転車の楽しさを日常的に体験できる場としてサイクルパークの設置や、既存施設を活用した自転車に親しめる環境創出を検討します。様々な自転車競技、幅広い年齢層が、楽しみ学べる場を検討します。



参考例：Mellowpark

- ・ドイツのベルリン市南東部に位置
- ・面積6ヘクタール

■ 参考例：Mellowpark



■サイクルパーク構想の策定に向けた検討

- さいたまは一と推進協議会の下部組織「さいたまは一と推進検討部会」を新たに設置し、サイクルパーク構想の検討に着手。（H30.9.20第1回開催）
- また、自転車関係団体へのヒアリングを開始。

<さいたまは一と推進検討部会>

日本自転車普及協会常務理事	田中栄作
埼玉県サイクリング協会理事長	渡邊廣次
バイクロア実行委員会統括	松原満作
サイタマサイクルプロジェクト代表取締役	川島恵子
グッド・チャリズム宣言プロジェクト代表理事	韓 祐志

主な意見

- サイクルパーク構想は全国的にも画期的な取組。
- 自転車への興味が薄い市民等も呼び込むべき。
- メインの拠点の他に、安全教室を開催したり、情報発信機能を有するサテライト的な拠点があってもよい。
- 何もない空間を広くとっておくことが大事。そこで多種多様な催しがなされたり、交流が生まれる。
- 整備にあたって、市民参加の仕組みがあるとよい。
- 自転車まちづくりの拠点とし、交通マナー教室や、各種イベントの開催にも活用できるとよい。
- サイクルパークまでの、交通機関等でのアクセシ性が大事。

さいたま市サイクルパーク構想骨子（案）

都市局 都市計画部 自転車まちづくり推進課

1. サイクルパーク構想の検討について

➤事業の位置付け

- さいたま自転車まちづくりプラン～さいたまは一と～の施策の柱のひとつ「たのしむ」に、「サイクルパークの設置」が位置付けられている。

実体験を通じた情報発信、自転車文化の醸成のために、自転車の楽しさを日常的に体験できる場、様々な自転車競技や、幅広い年齢層が、楽しみ学べる場を検討します。

➤サイクルパーク構想検討の背景

- 本市は「東日本の玄関口」として様々な公共交通の結節点となっており、広域的なアクセスの良さという大きな強みがある。
- 市内には荒川サイクリングロードや見沼ヘルシーロードが走り、サイクリストから見たアクセス性も非常に良い。すでに彩湖や秋ヶ瀬公園等、各地のサイクリストが集積する広域拠点を有している。
- 自転車の活用推進を図る施設として全国、世界に誇れるものを持てるポテンシャルがあると言える。

1. サイクルパーク構想の検討について

➤ サイクルパークの必要性（なぜ、市がやるのか？）

• 自転車を楽しみ、学ぶ場所の現状

自転車を楽しみ、学ぶ場所として、現在公園や河川敷等、限定的に使える空間は既にある。しかしあくまで限定的であるため他の利用者との衝突が生じてしまっているほか、十分な空間や取組みを提供できているとは言えない。

• サイクルパークが解決する課題

上記の問題を解決し、自転車をより深く楽しみ、学ぶための場所、機会を提供することで、自転車利用の促進と安全利用の啓発というさいたまは一とに掲げる政策目標を達成しようとするもの。

• 場の広大さ・恒常性・持続性

サイクルパークのコンセプト及び機能を満たすだけの用地は広大であるほか、長期にわたって場がそこに存在する恒常性・持続性が必要である。民間事業ではこれらを担保することができないため、市の事業として場の整備を行う必要がある。なお、ソフト事業は民間事業として展開する余地が十分にある。

2. サイクルパークのコンセプト

▶ サイクルパークのコアコンセプト

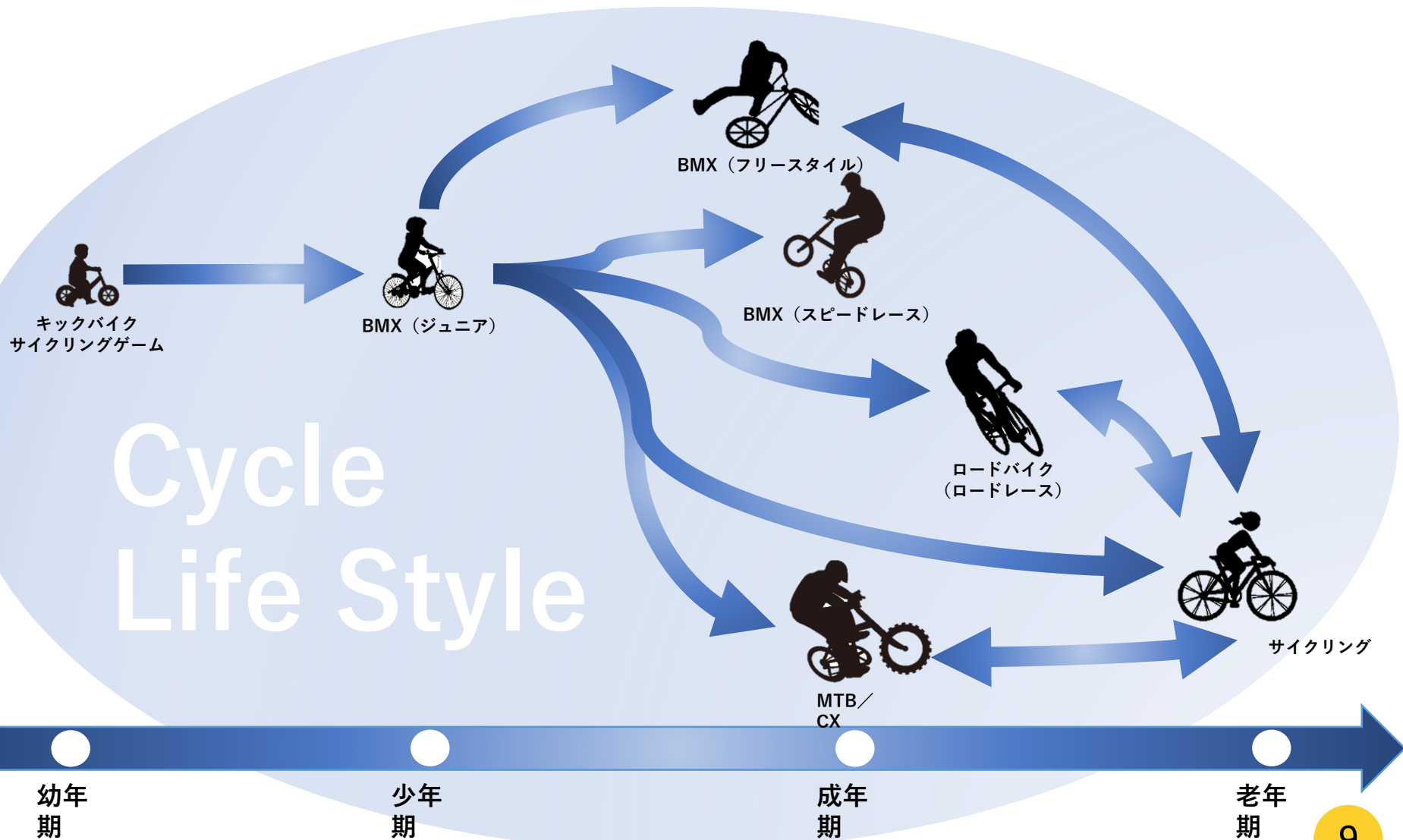
豊かな自転車文化を創造し、醸成する場

▶ サイクルパークのキーワード

1. 自転車を知り、触れ合い、学ぶ
2. 自転車とともに歩み、自らを成長させ、人生を豊かにする
3. 世界に誇る自転車競技選手を生み出す

2. サイクルパークのコンセプト

▶ サイクルパークコンセプトイメージ



2. サイクルパークのコンセプト

▶ サイクルパークのコアコンセプト

豊かな自転車文化を創造し、醸成する場

- 自転車を「移動手段」から「文化の担い手」に昇華させる。
- 自転車を、サッカーをはじめとした他のスポーツと同じように、ともに歩み、自己を成長させ、一緒に楽しむ仲間と知り合い、人生を豊かにするライフスタイルとして再発見する
= 自転車文化を創造する場とする。
- サッカー、野球、ラグビー、ランニング等周辺のスポーツ施設群と相互交流することで、様々な人が集い新たな出来事が生まれる
= 自転車文化が醸成される場とする。

2. サイクルパークのコンセプト

▶ サイクルパークのキーワード

1. 自転車を知り、触れ合い、学ぶ

子どもたちが自転車を知り、触れ合い、学ぶ機会を提供する。単に乗り方やルール・マナーを学ぶだけではなく、自転車を使った多種多様な遊び・ゲームを通して、運動能力、競争心、協調性、自己肯定感などを育む。

幼少のうちから、「人生は自転車を通じて豊かになる」ことを知ってもらう。

2. 自転車とともに歩み、自らを成長させ、人生を豊かにする

BMX（スピードレース・フリースタイル）、マウンテンバイク／シクロクロス、ロードバイク（レース・ツーリング）等、少年期から老年期までのライフステージや趣味嗜好に応じ、多種多様な自転車の楽しさを体験する機会を提供する。

自転車とともに歩むライフスタイルをサイクルパークで実現し、発信する。

2. サイクルパークのコンセプト

▶ サイクルパークのキーワード

3. 世界に誇る自転車競技選手を生み出す

BMX等、一部の施設は国際的な競技規格に適合する施設とする。国内に適合施設はほかに1施設しかなく、アクセスの良さと合わせて考えると唯一無二の環境が構築できる。また、周辺のスポーツ施設群との連携のハブとなる宿泊施設を整備する。国内外のトップアスリートの練習拠点、大会前合宿場所となるほか、全日本選手権や大規模国際大会を開催できる可能性が生まれる。

このような環境のなかで、世界に誇る自転車選手を生み出す土壌となり、さいたま市を自転車のルーツとする選手が、ツール・ド・フランスを制する日を実現させる礎となることを目指す。

3. サイクルパークのコンテンツ

▶ サイクルパークのメインコンテンツ

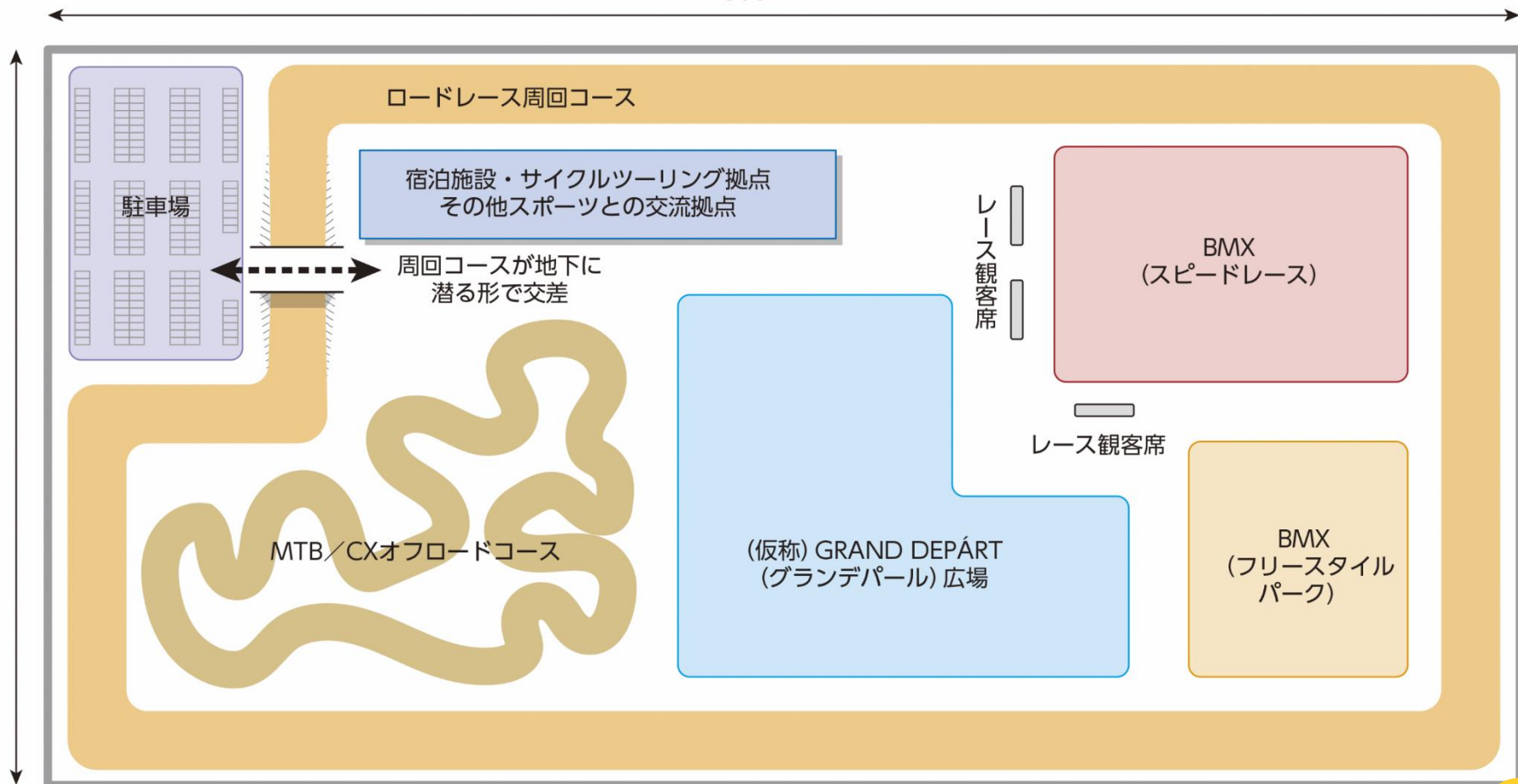
- (仮称) GRAND DÉPÂRT (グランデパール) 広場
- BMX (スピードレース / フリースタイルパーク)
- MTB / CX オフロードコース
- ロードレース周回コース (2km 程度)
- 宿泊施設・サイクルツーリング拠点・その他スポーツとの交流拠点

3. サイクルパークのコンテンツ

▶ サイクルパークのメインコンテンツ

- コンテンツの配置イメージ

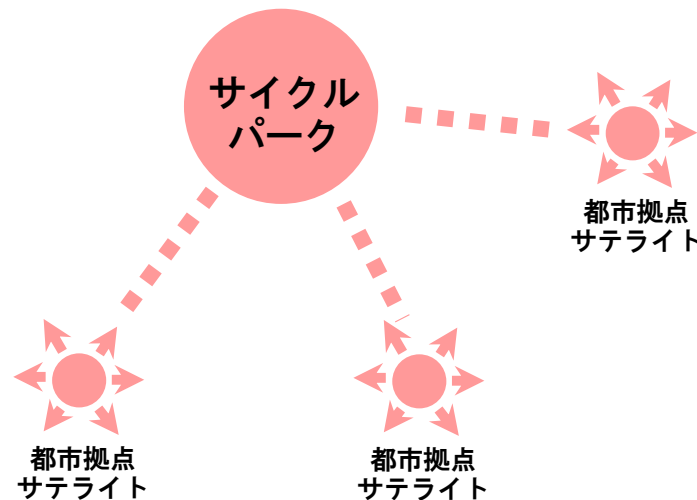
500m



4. サイクルパークの展開

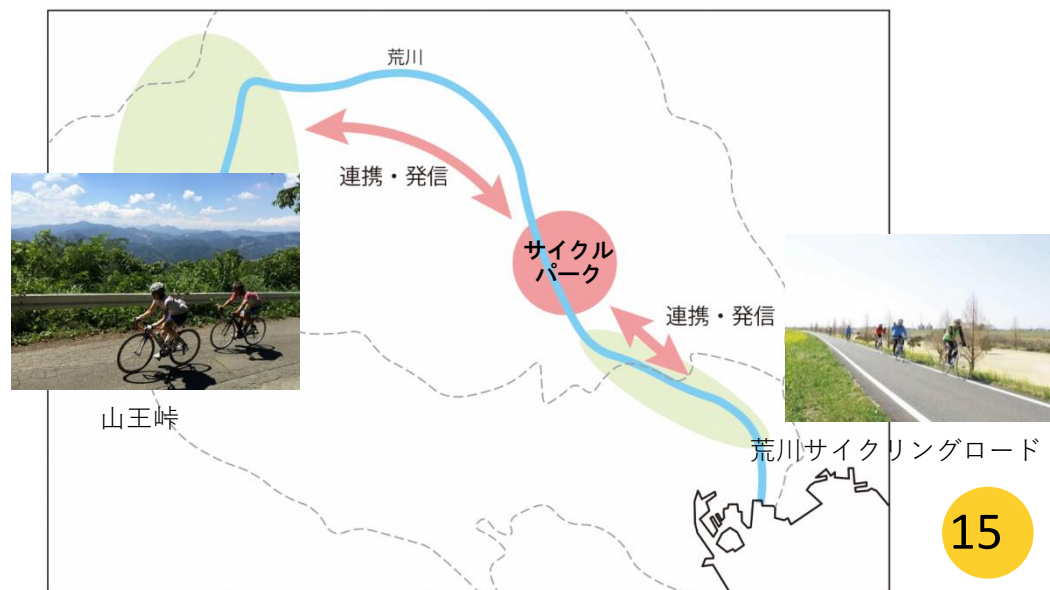
▶市民へのスポーツプロモーション

- ✓ サイクルパークの魅力・楽しさを、市民へPRするため、市内中心拠点（新都心、浦和、大宮等）へ、サテライト施設の設置や、デジタルサイネージ等によるプロモーションを展開



▶広域連携によるスポーツツーリズム

- ✓ 市内のサイクルパークと、荒川沿いの東京・秩父方面との広域連携により、スポーツツーリズムの推進、地域活性化を図る



4. サイクルパークの展開

➤ソフト事業の切り出し

- ✓ サイクリングゲームなどパーク外でも実施可能な事業は、市内の公園や市主催イベント等で実施していく。パーク開設前のパイロット事業としても検討。



5. 来年度の検討事項について

▶来年度の展開

- この骨子案を踏まえ、パークに導入すべき機能の実現に必要とされる、
 - ✓ 具体的な施設の立地
 - ✓ 施設形態
 - ✓ 整備手法・運営手法
 - ✓ 必要な金額の概算
- 等の項目について複数のパターン（1箇所配置か、分散配置か等）に整理した上で検証・検討を行い、さいたま市サイクルパーク構想として策定・とりまとめていく。
- あわせて、市の他分野の施策（スポーツシュール等）との連携方策を検討していく。

(参考) サイクルパークのコンテンツ詳細

▶ サイクルパークのメインコンテンツ

- (仮称) GRAND DÉPART (グランデパール) 広場
- ✓ 子どもたちが初めて自転車に出会い、楽しさに触れ合う場所。
- ✓ 多目的広場としての使用も見込む。

展開するソフト事業 (候補)

- デンマーク式自転車教室「サイクリングゲーム」
- ウィーラースクール監修自転車教室

単に自転車の乗り方を教えるだけではなく、自転車を使った多種多様な遊び・ゲームを通して、運動能力、競争心、協調性、自己肯定感などを育む。幼少のうちから、「人生は自転車を通じて豊かになる」ことを知ってもらう場所。

※GRAND DÉPART (グランデパール) とは、ツール・ド・フランスの出発地の通称。大いなる自転車の旅のはじまりの地。



サイクリングゲーム (代官山、猿楽祭2018)

(参考) サイクルパークのコンテンツ詳細

▶ サイクルパークのメインコンテンツ

- **BMX (スピードレース / フリースタイルパーク)**
 - ✓ **ダブルヒル (5 m & 8 m) 形式の、ジュニア規格と国際規格に両対応するスピードレースコース**
 - ✓ **次期オリンピックより正式種目となるBMXフリースタイルパークエリア (スケートパークとしても利用)**

グランデパール広場で自転車の楽しさを知った子どもたちが、次に向かう場所。諸外国では少年期にBMXを経験することはサイクリスポートとして当たり前のキャリアパスであり、この時期にバイクコントロールを学ぶことが生涯にわたっての財産となる。

いずれも国内初の施設であり、その希少性と立地の良さから、ナショナルレベルでの強化拠点や、全日本 / 世界選手権等の大規模大会開催地となれる可能性が非常に高い (JCF強化担当ヒアリング済み)。



Yuta's Bike Park (山梨県北杜市、八ヶ岳)



Mellowpark (ドイツ、ベルリン)

(参考) サイクルパークのコンテンツ詳細

▶ サイクルパークのメインコンテンツ

- **MTB / CX オフロードコース**
- ✓ MTBは入門として、CXはある程度本格的な競技に対応できるオフロードコース
- ✓ 秋ヶ瀬の森バイクロア実行委員の監修により、単なる競技コースにとどまらず、ランドスケープ（景観）を創り出し楽しさや格好良さの発信拠点となる

中学生前後から、サイクルスポーツとしてのキャリアはMTBやロードに分岐していく。さいたま市は平坦地のため、MTBとしては入門、CX(シクロクロス)としては中級レベルのコースを作る。勿論、BMXで走ることもできる。



(参考) サイクルパークのコンテンツ詳細

▶ サイクルパークのメインコンテンツ

- **ロードレース周回コース（2km 程度）**
 - ✓ 主としてロードバイクに対応する、自転車専用（歩行者立ち入り不可）の舗装コース。

一般にサイクリングロードと呼ばれている場所はほとんどすべてが自転車歩行者専用道であり、本来は周りを気にせず自転車を楽しめる場所ではない。それゆえ自転車と他の利用者間で軋轢が生じている。

この問題を解決し、心置きなく全力が出せるほか、集団走行など競技としてのロードバイクの乗り方や、サイクリングロードを走るうえでのマナーを学ぶ場所を提供する。

クラブチームの練習拠点となるほか、高頻度（毎週末～月1回）に地域密着型レースが開催され、選手育成や生きがいを提供する場所となることを目指す。



修善寺サイクルスポーツセンター

(参考) サイクルパークのコンテンツ詳細

▶ サイクルパークのメインコンテンツ

- 宿泊施設・サイクルツーリング拠点・その他スポーツとの連携拠点
 - ✓ サイクルパーク内に宿泊施設を設け、サイクルツーリング拠点や、選手強化合宿所、他のスポーツ施設群との連携ハブとする。
 - ✓ 付帯機能として、自転車メンテナンス、レンタルバイクサービス、フィットネスジム、シャワー施設等を設ける。

ナショナルレベルでの強化拠点や、大規模大会の開催、インバウンド対応、サイクルツーリング拠点機能や他のスポーツとの連携機能のため、宿泊を軸とした複合サービス施設を設ける。



ONOMICHI U2

